

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	品質管理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎6F実習室
担 当 教 員	上野哲司	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>品質管理は、どのような分野に就職したとしても、自分達の職場の問題を解決していくことのできる、役立つ便利ツールです。このツールを理解し使えるようになることが目標です。</p> <p>QC検定3級に合格すれば、基礎的なQCの知識を理解しているとみなされ、企業の就職にも有利になります。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験、模擬試験の結果及び、授業に対する積極性、出席点、発言・発表点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
よくわかる3級QC検定 合格テキスト						
《授業外における学習方法》						
講義中に小テストを実施しますので、復習を行ってください。						
《履修に当たっての留意点》						
品質管理は、どのような分野に就職しても役立ちます。ぜひ積極的に取り組んでいただき、今回勉強したことを社会に出て発揮していただけることを期待します。9月のQC検定への受験は、勉強のチャンスと捉え、ご自身の将来の活躍のためにも、合格を目指して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	品質とは何かについて説明できる	P24～		
		各コマにおける授業予定	第1章 品質管理概論 2. 品質とは何か			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本統計量の計算ができる	P59～		
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 1. データの採り方			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	分布の違いにより、どういった事象であるか説明できる	続き		
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 1. データの採り方			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒストグラムのパターンから、改善の方向性を考察できる	P84～		
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 4 ヒストグラム			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	管理図の見方を知り、改善の方向性を考察できる	P120～ P89～		
		各コマにおける授業予定	<input type="checkbox"/> 第3章 品質管理の実践 1. 統計的工程管理 <input type="checkbox"/> 第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 7 管理図・工程能力図			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	重点志向、PDCAサイクルについて説明できる	P38～ P83～	
		各コマにおける授業予定	第1章 品質管理概論 3. 管理とは何か 第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 2 パレート図		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前半の理解度の確認		総復習を実施しますので、これまでの範囲の復習をしてください
		各コマにおける授業予定	前半の総復習		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題解決の手順について説明できる	P134～ P81～	
		各コマにおける授業予定	第3章 品質管理の実践 2. 問題および課題の解決 第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 1 特性要因図		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	QC七つ道具の説明ができる	P86～ P89～	
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 8 層別 5 散布図		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	QC七つ道具の説明ができる	P84～ P87～	
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 2. QC七つ道具 3 チェックシート 6 グラフ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	新QC七つ道具の種類の説明ができる	P98～	
		各コマにおける授業予定	第2章 品質管理の手法 2. 新QC七つ道具		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	品質保証について説明できる	P12～ P146～	
		各コマにおける授業予定	第1章 品質管理概論 1. 品質管理の基礎 第3章 品質管理の実践 3. 品質の保証		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	標準化の重要性について説明できる	P48～	
		各コマにおける授業予定	第1章 品質管理概論 4. 標準化		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認しこれまでの内容を定着させることができる		復習テストを実施しますので、これまでの範囲の復習をしてください
		各コマにおける授業予定	理解度チェック		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認しこれまでの内容を定着させることができる		総復習を実施しますので、これまでの範囲の復習をしてください
		各コマにおける授業予定	これまでの総復習		